

政経の新100冊 2015年版

|    | 教員名 | 書名                              | 著者・編者等             | 出版社        | 出版年  | コメント  | 番号                    |
|----|-----|---------------------------------|--------------------|------------|------|---|-----------------------|
| 1  | 河島  | ポスト・ヒューマン誕生: コンピュータが人類の知性を超えるとき | レイ・カーツワイル著         | 日本放送出版協会   | 2007 | 2045年に人類は人工知能に追い抜かれるのか。再活性化する人工知能開発の話題の中心にある問題作。                          | 007.1<br>Ku79         |
| 2  | 河島  | デジタルの際: 情報と物質が交わる現在地点           | 河島茂生編著             | 聖学院大学出版会   | 2014 | 安易な未来予測に組みせず、デジタル情報に溺れないために。  | 007.3<br>Ka97         |
| 3  | 竹井  | ビッグデータの正体                       | ビクター・マイヤー＝ショーンベルガー | 講談社        | 2013 | ビッグデータとは何か、新たな価値の創出と課題について論じた書物。  | 007.3<br>Ma98         |
| 4  | 竹井  | 情報倫理の思想                         | 西垣通、竹ノ内禎           | NTT出版      | 2007 | 情報倫理の哲学的、本質的側面について論じた書物。  | 007.3<br>N81          |
| 5  | 竹井  | ビッグデータの衝撃                       | 城田真琴               | 東洋経済社      | 2012 | ビッグデータとは何か、ビッグデータの活用や課題などをわかりやすく解説した書物。                                   | 007.3<br>Sh89         |
| 6  | 河島  | コンピュータのひみつ                      | 山本貴光著              | 朝日出版社      | 2010 | ケータイだってコンピュータ。PCと動作原理は同じ。本書を読んで、基本から楽しく理解しよう。                             | 007.6<br>Y31          |
| 7  | 河島  | 世界の夢の図書館                        |                    | エクスナレッジ    | 2014 | 図書館は伝統を守り、革新する。それが建築に体现されている。図書館はダサいと思っているあなたに。                           | 010.2<br>Se22         |
| 8  | 竹井  | 世界を変えた10冊の本                     | 池上彰                | 文芸春秋       | 2013 | 著者が選んだ“世界を変えた10冊の本”をわかりやすく、読みやすく解説したガイダンス的な書物。                            | 019<br>I33            |
| 9  | 若松  | 本を読むデモクラシー                      | 宮下志朗               | 刀水出版       | 2008 | 本や新聞・雑誌が民衆のものとなり読書が一つの必需品となっていく19世紀の読書の社会史。                               | 019.02<br>Mi83        |
| 10 | 河島  | 身体としての書物                        | 今福龍太著              | 東京外国語大学出版会 | 2009 | 書物とはなんだろう。有限だろうか、無限だろうか。書物の魅力にエッセイ調で迫った一冊。                                | 020.4<br>I41          |
| 11 | 小松崎 | いま平和とは—人権と人道をめぐる9話              | 最上敏樹               | 岩波新書       | 2006 | なぜ人権が大切なのかという視点から、平和の意味を丁寧に解きほぐして教えてくれる、平和学への第一歩に最適な本                     | 081<br>195(3)<br>1000 |
| 12 | 竹井  | メディアと日本人                        | 橋元良明               | 岩波新書       | 2011 | メディア環境が変化し、日本人の生活や意識がどのように変化してきているのかを論じた書物。                               | 081<br>195(3)<br>1298 |
| 13 | 菊地  | アメリカ黒人の歴史 新版(岩波新書)              | 本田創造               | 岩波書店       |      |   | 081<br>195(3)<br>165  |
| 14 | 石川  | 自由と国家: いま「憲法」のもつ意味              | 樋口 陽一(著)           | 岩波書店       | 1989 | 自由主義や民主主義と違って、日本ではあまり意識されない立憲主義の意義を雄弁に説く一冊。アメリカとフランス、トクヴィルとルソーの比較なども興味深い。 | 081<br>195(3)<br>93   |
| 15 | 菊地  | ガンジー自伝(中公文庫)                    | マハトマ・ガンジー著、蛭山芳郎訳   | 中央公論新社     | 2004 |   | 126.9<br>G19          |

政経の新100冊 2015年版

|    | 教員名 | 書名                                | 著者・編者等  | 出版社      | 出版年  | コメント   | 番号             |
|----|-----|-----------------------------------|---|----------|------|--|----------------|
| 16 | 菊地  | わが非暴力の闘い(レグルス文庫)                  | ガンディー著、森本達雄訳                                    |          |      |  | 126.9<br>G19   |
| 17 | 菊地  | 非暴力の精神と対話(レグルス文庫)                 | ガンディー著、森本達雄訳                                    |          |      |  | 126.9<br>G19   |
| 18 | 河島  | 情報を生み出す触覚の知性: 情報社会をいきるための感覚のリテラシー | 渡邊淳司著   | 化学同人     | 2014 | 昨日スマートフォンで見た内容を覚えているだろうか。情報は身体化してこそ、意味がある。                                       | 141.24<br>W46  |
| 19 | 竹井  | 日本人とアイデンティティ : 心理療法の着想(講談社+ 文庫)   | 河合隼雄  | 講談社      | 1995 | 自分らしく生きていくためには? 日本人としてのアイデンティティをわかりやすく語る。  | 146.8<br>Ka93  |
| 20 | 金子  | 人を動かす                             | D.カーネギー   | 創元社      | 1958 | 人の心を動かす知の宝庫  | 159<br>C19     |
| 21 | 金子  | 人生の扉をひらく「万能の鍵」                    | R.W.ライン   | サンマーク出版  | 2005 | 成功を望むならコレしかない  | 159<br>Tr5     |
| 22 | 石川  | すべてはモテるためである                      | 二村 ヒトシ(著)                                       | イースト・プレス | 2012 | この本、タイトルと表紙で損している。ユマニズムの伝統すら思わせる、きわめて優れた人間観察論。男子学生(とその親御さん)は必読。もちろん女子学生にもオススメ。   | 159.7<br>N75   |
| 23 | 石川  | 国家の論理といのちの倫理: 現代社会の共同幻想と聖書の読み直し   | 上村 静(編著)  | 新教出版社    | 2014 | 中絶、出生前診断、自殺、非正規雇用、在日外国人、教育、障害者...現代日本社会の周縁で日々闘う人々の生の声。日本におけるキリスト教会の存在意義を感じさせる一冊。 | 190.4<br>U42   |
| 24 | 竹井  | 「ひと」として大切なこと                      | 渡辺和子  | PHP文庫    | 2005 | 「人格論」の講義をまとめたものであり、「自分らしさ」を見つけるヒントとなる書物。   | 198.24<br>W46  |
| 25 | 山田  | 武士の家計簿 「加賀藩御算用者」の幕末維新(新潮新書)       | 磯田 道史(著)  | 新潮社      | 2013 | 家計が苦しいときにやり繰りが必要なのは武士も同じ。家計簿から武士の見栄と節約の葛藤がみえてきます。あまりに面白く、映画化までされました。             | 210.58<br>I85  |
| 26 | 若松  | ルターの首引き猫: 木版画で読む宗教改革              | 森田安一  | 山川出版     | 1993 | 木版画のピラやパンフレットで宗教改革のイメージは文字を解さぬ人々にも伝えられた。現代も顔負けの熾烈な情報戦の内幕。                        | 234.05<br>Mo66 |
| 27 | 柴田  | 熔ける: 大王製紙前会長井川意高の懺悔録              | 井川意高  | 双葉社      | 2013 | バカラですったお金106億8000万円なり。東大法卒の優秀な経営者があまりに幼稚な挫折、その落差の大きさに衝撃が走る。                      | 289.1<br>I31   |
| 28 | 宮本  | 社会科学の方法論争: 多様な分析道具と共通の基準 [原著第2版]  | ヘンリー フレイアイ(著)、デヴィッド コリアー(著)、泉川 泰博(訳)、宮下 明(訳)(注) | 勁草書房     | 2014 | 『社会科学のリサーチ・デザイン』で論じられなかった定性的研究の方法を広げた社会科学の入門書                                    | 301.6<br>B71   |
| 29 | 宮本  | 社会科学のケース・スタディ 理論形成のための定性的手法       | アレキサンダー ジョージ(著)、アンドリュー ベネット(著)、泉川 泰博(訳)         | 勁草書房     | 2013 | 事例研究から理論形成に導く手法を論じた社会科学の入門書  | 301.6<br>G35   |
| 30 | 宮本  | 社会科学のリサーチ・デザイン 定性的研究における科学的推論     | G.キング(著)、R.O.コヘイン(著)、S.ヴァーバ(著)、真淵 勝(監訳)         | 勁草書房     | 2004 | アメリカの大学で広く用いられている代表的な社会科学の入門書。   | 301.6<br>K143  |

政経の新100冊 2015年版

|    | 教員名 | 書名                               | 著者・編者等               | 出版社     | 出版年  | コメント   | 番号                |
|----|-----|----------------------------------|----------------------|---------|------|--|-------------------|
| 31 | 宮本  | 黒いスイス(新潮新書)                      | 福原 直樹                | 新潮社     | 2004 | 永世中立国であって平和というイメージの強いが、世界有数の重武装国家であって核兵器開発に着手したり、ナチス・ドイツに協力してユダヤ人追放を行ったりしたスイスの実態に迫った著書 | 302.345<br>F75    |
| 32 | 石川  | 思想としての“共和国”:日本の民主シーのために          | レジス・ドゥブレ (他著)        | みずす書房   | 2006 | 「拘束の欠如」としてではない「規範創造的」な自由は可能か。フランス共和国200年の苦闘を振り返りつつ、日本の現状を考える。民主シーって難しい。思想って面白い。        | 311.04<br>D52     |
| 33 | 宮本  | 原因を推論する - 政治分析方法論のすゝめ            | 久米郁男                 | 有斐閣     | 2013 | 政治事象を印象ではなく、客観的に理解して、その原因を分析するための方法を論じた社会科学としての政治学の入門書                                 | 311.16<br>Ku37    |
| 34 | 宮本  | 日本と韓国:互いに敬遠しあう関係                 | 猪口孝(編)               | 原書房     | 2015 | 日韓の若手・ベテランの政治学者や実務者が共同研究を通じて執筆し、日本と韓国の政治を比較して論じた編著                                     | 312.1<br>G34<br>7 |
| 35 | 宮本  | イスラーム国の衝撃(文春新書)                  | 池内恵                  | 文藝春秋    | 2015 | 国境を越えて活動するテロリストたちが結成した「イスラーム国」の組織原理や思想などの実態を明らかにし、ベストセラーになった著書。                        | 316.4<br>I35      |
| 36 | 菊地  | 自由への大いなる歩み(岩波新書)                 | M. L. キング著、雪山慶正訳     | 岩波書店    |      |  | 316.853<br>Ki43   |
| 37 | 菊地  | 黒人差別とアメリカ公民権運動(集英社新書)            | ジェームズ・M・バーダマン著、水谷八也訳 | 集英社     |      |  | 316.853<br>V42    |
| 38 | 柴田  | 検証 財務省の近現代史:政治との闘い150年を読む(光文社新書) | 倉山満                  | 光文社     | 2012 | 財務省(旧大蔵省)が政治と闘った、なぜ、ほんとうか、そこを確かめながら読む一冊  | 317.24<br>Ku57    |
| 39 | 平   | 夕張再生市長                           | 鈴木直道                 | 講談社     | 2014 | 「ミッション・インボッシブル」と言われた夕張で、再生に立ち向かう33歳市長の挑戦   | 318.215<br>Su96   |
| 40 | 金子  | 私がくまモンの上司です                      | 蒲島郁夫                 | 祥伝社     | 2014 | 地方創生、口だけじゃない   | 318.294<br>Ka11   |
| 41 | 小松崎 | 構造的暴力と平和                         | ヨハン・ガルトゥング           | 中央大学出版部 | 1991 | 平和とは、国家間の戦争の問題だけではなく、人々の日常生活に直接関わる問題だという、平和学の基本的視点を学ぶための書                              | 319.8<br>G17      |
| 42 | 小松崎 | 平和主義とは何か—政治哲学で考える戦争と平和           | 松元雅和                 | 中公新書    | 2013 | 「平和は理想で非現実的」だと断定する前に、この本の中に散りばめられた数々の問いかけに答えてみよう                                       | 319.8<br>Ma81     |
| 43 | 小松崎 | 平和を考えるための100冊+                   | 日本平和学会編              | 法律文化社   | 2014 | 平和学が取り扱う領域の広さと学問的特徴が見渡せる手引き書   | 319.8<br>N71      |
| 44 | 小松崎 | ヒューマニティーズ 法学                     | 中山竜一                 | 岩波書店    | 2009 | なぜ法律が必要なのか、なぜ法学を学ぶのか、そして法的にものを考えるとはどういうことかがよく分かる本                                      | 321<br>N45        |
| 45 | 石川  | 加害者家族                            | 鈴木 伸元(著)             | 幻冬舎     | 2010 | 犯罪「被害者」家族に着目するものは多いが、「加害者」家族に光を当てるものは少ない。大学という高等教育機関に進学したからには、このような複眼的な思考力を磨きたい。       | 321.3<br>Su96     |

政経の新100冊 2015年版

|    | 教員名 | 書名                                | 著者・編者等                | 出版社           | 出版年  | コメント   | 番号              |
|----|-----|-----------------------------------|-----------------------|---------------|------|--|-----------------|
| 46 | 小松崎 | 「未完の革命」としての平和憲法—立憲主義思想史から考える      | 千葉眞                   | 岩波書店          | 2009 | 「非戦平和の国づくり」という理念を内包する日本国憲法の世界史的な意義がよく分かる本  | 323.01<br>C42   |
| 47 | 石川  | リアル憲法学(第2版)                       | 石崎 学(他編著)             | 法律文化社         | 2013 | 人権が侵害されているのに声すら挙げられない人たちの声を「法」に翻訳し、正義の回復を図ること。それこそ憲法学の役割である この一点にこだわったユニークな憲法入門。 | 323.14<br>I84   |
| 48 | 小松崎 | 「平和国家」日本の再検討                      | 古関彰一                  | 岩波現代文庫        | 2013 | 「平和憲法」とも呼ばれる日本国憲法に込められた「平和主義」の意味を考える上で必読の書                                       | 323.142<br>Ko83 |
| 49 | 石川  | 憲法未来予想図:16のストーリーと48のキーワードで学ぶ      | 榎澤 幸広(他編著)            | 現代人文社         | 2014 | 現政権与党が意図する方向で憲法改正が実現したら日本はどうなる?という視点から書かれたユニークな憲法入門。改憲の是非を考える前に読んでおきたい一冊。        | 323.149<br>E63  |
| 50 | 菊地  | プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神(岩波文庫)       | マックス・ウェーバー著、大塚久雄訳     |               |      |  | 331.5<br>W51    |
| 51 | 八木  | ブラックスワンの経営学:通説をくつがえした世界最優秀ケーススタディ | 井上達彦                  | 日経BP社         | 2014 | 経営学の研究手法のうち質的研究のひとつであるケーススタディについて、優秀論文賞を受賞した論文を例にとり、質的研究のもつ力を解説してくれる。            | 335.1<br>I57    |
| 52 | 八木  | Lean in: 女性、仕事、リーダーへの意欲           | シェリル・サンドバーグ著          | 日本経済新聞出版社     | 2013 | 米国でも、そこでビジネス界のトップで働くひとであっても、女性がリーダーを務めるのはしんどい。けれど、それは挑戦しがいのあることだ、ということを感じさせてくれる本 | 335.13<br>Sa62  |
| 53 | 柴田  | 日本でいちばん大切にしたい会社                   | 坂本光司                  | あさ出版          | 2008 | 従業員を幸せにして継続的に利益を上げる、こんなお伽噺が実現されている。学生よりむしろ本学の教職員がいちばん読むべき本か。                     | 335.35<br>Sa32  |
| 54 | 竹井  | マネジメント                            | P.F.ドラッカー、上田惇生        |               | 2001 | ドラッカーのマネジメントの基本と原則に関するエッセンシャル版。  | 336<br>D92      |
| 55 | 八木  | マネジメント(エッセンシャル版)基本と原則             | ピーター・ドラッカー著           | ダイヤモンド社       | 2001 | 世の中のさまざまな問題を解決する手段として経営があり、経営は、経営者だけでなく、すべてのひとが学ぶべきだ、と思わせてくれる本                   | 336<br>D92      |
| 56 | 柴田  | 未来企業 レジリエンスの経営とリーダーシップ            | リンダ グラットン、吉田 晋治訳      | プレジデント社       | 2014 | 就活で挫けそうなときには是非お読みください。会社選択のヒントがあります。   | 336<br>G78      |
| 57 | 竹井  | 科学的管理法                            | フレデリックW.テイラー<br>有賀裕子訳 | ダイヤモンド社       | 2009 | マネジメントの原点としてのテイラーの科学的管理法の新訳版。  | 336.2<br>Ta98   |
| 58 | 八木  | 世界で働く人になる!                        | 田島麻衣子著                | アルク           | 2014 | 日本人が世界で働くために役立つ、人づきあいの力と英語力を磨くヒントをまとめた本  | 336.4<br>Ta26   |
| 59 | 金子  | 京セラフィロソフィ                         | 稲盛和夫                  | サンマーク出版       | 2014 | 裸一貫からの成功の原点  | 336.47<br>I53   |
| 60 | 山田  | カラー版 会計のことが面白いほどわかる本<会計の基本の基本編>   | 天野 敦之(著)              | KADOKAWA/中経出版 | 2012 | 面白いということがセールスポイントになるくらい会計の勉強はつまらないと思われていますが、本書は大丈夫。わかりやすい解説でベストセラーです。            | 336.9<br>A43    |

政経の新100冊 2015年版

|    | 教員名 | 書名                                      | 著者・編者等  | 出版社       | 出版年  | コメント  | 番号             |
|----|-----|---|---|-----------|------|---|----------------|
| 61 | 山田  | 歴史に学ぶ会計の「なぜ?」: アメリカ会計史入門                | トマス・A. キング (著),<br>Thomas A. King (原著), 友岡 賛 (翻訳)   | 税務経理協会    | 2014 | 複雑なことでも、原点から学べば簡単になります。原価計算も歴史的にみればなるほど。同時にアメリカ会計の考え方も理解できます。                     | 336.9<br>Ki43  |
| 62 | 山田  | 会計発達史                                   | リルトン (著), 片野 一郎 (翻訳)                                | 同文館出版     | 1978 | 古典とは時代を超えて読む価値のあるものとするれば、本書がまさしく会計学の古典中の古典。ノウハウ本を卒業して、本物に触れたい学生にお勧め。              | 336.9<br>L71   |
| 63 | 山田  | 会計の歴史探訪 -過去から未来へのメッセージ-                 | 渡邊 泉 (著)  | 同文館出版     | 2014 | 会計という数字と表ばかりでうんざりしている方にぜひ。美しい図表から会計の歴史が楽しく学べます。                                   | 336.9<br>W46   |
| 64 | 山田  | バランスシートで読みとく世界経済史                       | Jane Gleeson-White (著), 川添節子 (Setsuko Kawazoe) (翻訳) | 日経BP社     | 2014 | 歴史は進歩しているのかとは普遍的な問いですが、会計の歴史からは明快です。バランスシートを通して世界経済史の進歩がみえてきます。                   | 336.91<br>G49  |
| 65 | 平   | エンデの遺言 「根源からお金を問うこと」                    | 河邑厚徳 + グループ現代                                       | NHK出版     | 2000 | 「ネバー・エンディング・ストーリー」が語り残したお金に対する素朴な疑問。「温かい」通貨と言われる地域通貨の基本的考え方が理解できる。                | 337<br>E59K    |
| 66 | 柴田  | それでも金融はすばらしい: 人類最強の発明で世界の難問を解く          | ロバート・J・シラー 著; 山形浩生, 守岡桜共訳                           | 東洋経済新報社   | 2013 | それでも、という表現に少し反省はある。果たして金融で難問は解けたのか、それとも困難にしたのか本書で確認しよう。                           | 338<br>Sh34    |
| 67 | 柴田  | フラッシュ・ボーイズ 10億分の1秒の男たち                  | マイケル・ルイス, 渡会圭子, 東江一紀                                | 文藝春秋      | 2014 | 最先端の金融取引現場の凄まじさが理解できます。それでも、あなた株取引しますかということです。                                    | 338.15<br>L59  |
| 68 | 柴田  | 金融は人類に何をもたらしたか: 古代メソポタミア・エジプトから現代・未来まで  | フランクリン・アレン, グレン・ヤーゴ共著; 藤野直明, 空閑裕美子共訳                | 東洋経済新報社   | 2014 | 金融産業の重要性を再認識できる本とありますが、果たしてそうなのか。原題に比べて訳書の題名の素晴らしさに瞠目すべき。                         | 338.2<br>A41   |
| 69 | 柴田  | 強欲の帝国                                   | チャールズ・ファーガソン 著; 藤井清美訳                               | 早川書房      | 2014 | お金はみんな欲しいが、そこに節度はあるのか。知識はあってもモラルの無い人達の馬鹿騒ぎを楽しもう。                                  | 338.253<br>F21 |
| 70 | 柴田  | 日露戦争、資金調達達の戦い: 高橋是清と欧米バンカーたち (新潮選書)     | 板谷敏彦  | 新潮社       | 2012 | 戦争には金がかかる、そのためには資金調達が必要という話ですが、ここで成功したことが良かったのか、そこを考えたい。                          | 342.1<br>I88   |
| 71 | 八木  | 「しがらみ」を科学する: 高校生からの社会心理学入門              | 山岸俊男著   | ちくまプリマー新書 | 2011 | 「社会」に出て行くことを不安にさせる、世の中の「空気」や「しがらみ」の仕組みを社会心理学の理論を援用して解説してくれる。                      | 361.4<br>Y23   |
| 72 | 八木  | わかりあえないことから: コミュニケーション能力とは何か            | 平田オリザ著  | 講談社現代新書   | 2012 | わかりあう、察しあう日本社会が中途半端に崩れていきつつある今、わかりあえないことから出発するコミュニケーションがグローバル化の糸口となりうることを教えてくれる本。 | 361.45<br>H68  |
| 73 | 菊地  | 不可触民と現代インド (光文社新書)                      | 山際素男著   |           |      |   | 362.25<br>Y23  |
| 74 | 柴田  | 君の働き方に未来はあるか? 労働法の限界と、これからの雇用社会 (光文社新書) | 大内伸哉  | 光文社       | 2014 | 大学教員の雇用形態は、これに答えられる教員はいるのか。知られざる労働法と雇用の関係が理解できる。                                  | 366<br>O91     |
| 75 | 河島  | ゲームセンター文化論: メディア社会のコミュニケーション            | 加藤裕康著   | 新泉社       | 2011 | スマホのゲームが流行っている。しかし、人々はゲームセンターにも足を運ぶ。「場」の意味を考えさせられる一冊。                             | 367.6<br>Ka86  |

政経の新100冊 2015年版

|    | 教員名 | 書名   | 著者・編者等     | 出版社       | 出版年  | コメント   | 番号              |
|----|-----|--|------------|-----------|------|--|-----------------|
| 76 | 石川  | 生き心地の良い町:この自殺率の低さには理由がある                     | 岡 檀(著)     | 講談社       | 2013 | 人間関係の希薄さではなく、濃密さが現代人の生きづらさの原因? 空疎な「絆(きずな)」がはびこる今こそ、そんな世間の空気を批判的にみる眼を養う。その場が大学である。                      | 368.3<br>O36    |
| 77 | 平   | 宅急便を創った男 小倉昌男の福祉革命 障害者「月給1万円」からの脱出-          | 建野友保       | 小学館       | 2001 | 知的障害者の就業の場として、スワンベーカーを立ち上げた話。宅急便という新しいサービスを創出した小倉さんが、退職後、障害者支援にかけた情熱が伝わってくる。                           | 369.27<br>O26T  |
| 78 | 平   | 持ち場の希望学                                      | 東大社研       | 東京大学出版会   | 2014 | 311をそれぞれの持ち場で対応した釜石の人たちの震災の記憶。   | 369.31<br>To46  |
| 79 | 平   | 「地域暮らし」宣言:学校はコミュニティ・アート                      | 岸裕司        | 太郎次郎社     | 2003 | お父さんたちが小学校を舞台に、飼育小屋の建設、地域の新しい祭りなどに大活躍。楽しく、おもしろく読める本  | 371.3<br>Ki56   |
| 80 | 金子  | 「心」と戦争                                       | 高橋哲哉       | 晶文社       | 2003 | 国家の心への侵入を食い止めるのは今  | 375.35<br>Ta33  |
| 81 | 若松  | コーヒーが廻り世界氏が廻る:近代市民社会の黒い血液                    | 臼井隆一郎      | 中央公論      | 1992 | コーヒーという商品の歴史を現代文明の発展とからませて叙述するちょっと風変わりな世界史。  | 383.8<br>U95    |
| 82 | 宮本  | 北朝鮮ではなぜ軍事クーデターが起きないのか? 政軍関係論で読み解く軍隊統制と対外軍事支援 | 宮本悟        | 潮書房光人社    | 2013 | 北朝鮮では軍隊をどのように統制して、クーデターを防いでいるのかを比較政治学的手法によって論じた著書  | 392.21<br>Mi77  |
| 83 | 平   | ゴミが降る島                                       | 曽根英二       | 日本経済新聞社   | 1999 | 大量の産業廃棄物が不法に投棄された瀬戸内海の豊島(てしま)の住民の闘いの実話。住民の悲痛な叫びと頼りにならない行政のコントラストに、悲しさと怒りを感じる。                          | 519.7<br>So42   |
| 84 | 平   | 沈黙の春   | レイチェル・カーソン | 新潮文庫      | 1974 | 農薬などの人工的な化合物による自然破壊を世に訴えた名著。自然の大切さと科学技術の適切な利用方法を我々に問いかけた。自然環境に興味のある人にとって必読の書。                          | 519.79<br>C22   |
| 85 | 平   | YOSAKOIソーラン祭り 街づくりNPO経営学-                    | 坪井善明・長谷川岳  | 岩波アクティブ新書 | 2002 | 札幌の代表的な祭りの一つで、日本各地に広まったYOSAKOIソーラン祭りの誕生秘話。祭りを発展させた学生たちの活躍が勇気を与えてくれる                                    | 601.115<br>Ts15 |
| 86 | 平   | 「ごっくん馬路村」の村おこし                               | 大歳昌彦       | 日本経済新聞社   | 1998 | ゆずドリンク「ごっくん馬路村」など、ゆず製品で地域活性化に成功している高知県の山奥の馬路村(うまじむら)の話。愉快なおじさん「おんちゃん」が小さな山村を明るく元気にさせた。読めば必ず馬路村のファンになる。 | 601.184<br>O86  |
| 87 | 金子  | 柳生正わがドラッカー流経営論                               | 柳生正        | 日本放送出版協会  | 2010 | 一つの店舗から世界をつかむ  | 673.7<br>N71    |
| 88 | 石川  | 踊ってはいけない国、日本:風営法問題と過剰規制される社会                 | 磯部 涼(編著)   | 河出書房新社    | 2012 | 日本は自由な国だと思っている人にこそ読んでほしい一冊。ヘイトスピーチが放置される一方、クラブでのダンスが法で規制される日本。法って一体なんだろう?                              | 673.9<br>I85    |
| 89 | 若松  | 文読む姿の西東:描かれた読書と書物史                           | 田村俊作       | 慶應義塾大学出版会 | 2007 | 古今東西、本を読む姿が多く描かれてきたのはなぜか。読書の情景を読み解き、文化装置としての本、文化的行為としての読書を再発見する。                                       | 720.4<br>Ta82   |
| 90 | 八木  | 調べてみよう、書いてみよう                                | 最相葉月著      | 講談社       | 2014 | こども向けと侮るなかれ。企画の立て方、伝わる文章の書き方が学べる実践的な本。   | 816.5<br>Sa22   |

政経の新100冊 2015年版

|    | 教員名 | 書名                         | 著者・編者等                 | 出版社     | 出版年  | コメント  | 番号             |
|----|-----|----------------------------|------------------------|---------|------|---|----------------|
| 91 | 小松崎 | 論文ゼミナール                    | 佐々木健一                  | 東京大学出版会 | 2014 | 卒論やレポート執筆にとどまらず、なぜ大学で学ぶのかを考えるためにも、大学生生活の間に一度は読むべき本                                  | 816.5<br>Sa75  |
| 92 | 石川  | 東京プリズン                     | 赤坂 真理 (著)              | 河出書房新社  | 2014 | 現代日本の宿痾は、対中・対韓関係ではなく、対米関係と天皇制に存するということの思い起こさせてくれる一冊。「終戦70年」ではなく「敗戦70年」。やっぱり文学ってすごい。 | 913.6<br>A32t  |
| 93 | 石川  | 苦海浄土:わが水俣病(新装版)            | 石牟礼 道子(著)              | 講談社     | 2004 | 国家とは?近代とは?人間の尊厳とは?を根本から考えさせる一冊。水俣病は終わっていない。戦後日本文学の到達点。『東京プリズン』とセットで読むことを勧める。        | 916<br>I78k    |
| 94 | 石川  | スローターハウス5                  | カート・ヴォネガット・ジュニア(著)     | 早川書房    | 1978 | こちらは戦後アメリカ文学を代表する一冊。ドレスデン大空襲の逆再生(?)シーンは文学の無限の可能性を感じさせる。映画化されているので、そちらも是非。           | 933.8<br>V89s  |
| 95 | 菊地  | この最後の者にも / ごまとゆり(中公クラシックス) | ラスキン、飯塚一郎・木村正身訳        |         |      |   | 934.5<br>R88   |
| 96 | 菊地  | 夜と霧 新版                     | ヴィクトール・E・フランクル著、池田香代子訳 | みすず書房   |      |   | 946<br>F44     |
| 97 | 石川  | 悪徳の栄え                      | マルキ・ド・サド(著)            | 河出書房新社  | 1990 | 自由とは?権力とは?を根源まで突き詰めた一冊。19世紀以降に花開く近代批判・ポストモダン思想のすべてが、ここにある。わいせつ表現を考えるうえでも必読。         | 953.5<br>Sa13h |